

国際スポーツイベントが内戦の勃発に与える影響

山本早笑

経済学科 4 年

根元ゼミナール

本稿では、近年増加し複雑化している内戦に対して、社会・文化的な要素である大規模国際スポーツイベントがどのように影響を及ぼすかについて明らかにすることが目的である。国際スポーツイベントの結果や功績は国民の感情を刺激し、「国」の代表である出場選手の活躍によってナショナリズムが高まり、国全体が一体化していくと考えられる。そこでオリンピックのような参加国数や競技者数が多い大会であれば、国民の多くが競技に注目することになる。つまりオリンピックのメダルの数が多くなるほど、民族や宗教、立場を超えて国民がまとまり、内戦が発生しにくくなるだろう。内戦の動機や機会を与えるような様々な変数を含めた中で、オリンピックの結果は内戦の発生確率を下げるができるという分析結果が出た。ただ内在性の問題を無視できないため、さらに異なるモデルを設定し、オリンピックの結果の真の効果を見るようにする。これは自身の仮説と異なる結果になってしまったが、追加的に設定したモデルの再検討をすることで、より望ましい結果が得られるだろう。また国民がまとまりを強めた理由や、オリンピックでのメダル獲得以外の功績や外生的なショックも考慮することで、さらに洗練された結果を出すことが期待できる。